

中央教育審議会大学分科会大学院部会（第62回）資料

国立国会図書館（NDL）が所蔵する 学位論文（博士論文）とそのデジタル化

平成24年10月5日

国立国会図書館電子情報部 佐藤毅彦

1 国立国会図書館所蔵学位論文

国立国会図書館が所蔵する学位論文

1888年（明治21年）

現在

54万件（2010年（平成22年）度末現在）

1923年（大正12年9月、
関東大震災以後）

* 実運用においては、NDLへの学位論文の印刷物寄贈が、学位規則第9条の定める「印刷公表」にあたることとなっている。

収蔵率

学位授与年の収蔵率は59%、学位授与から7年後の収蔵率は96%
（1995～2002年学位授与分についての調査による。）

利用状況（年間）

来館閲覧件数：約5,900件
複写件数（来館及び郵送申込みの合計）：約3,000件

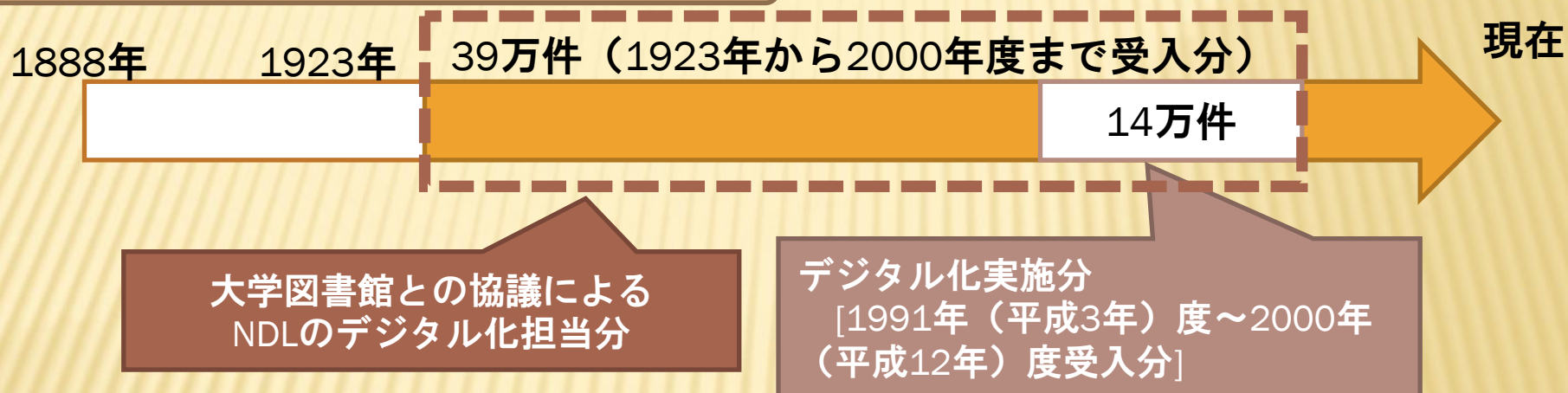
紙資料の利用は、来館閲覧か文献複写に限定されてしまう。

2 学位論文のデジタル化及び著作権処理

デジタル化の目的

学位論文の流通促進と原資料の保存

学位論文のデジタル化（2010年度）



著作権処理の結果 * 著者連絡先調査については大学の協力も得て実施

著作権処理対象：14万件 ⇒ 許諾依頼文書発送数：58,000件
（著者連絡先不明が83,000件）

発送文書への返信数	大学公開可	国立国会図書館公開可
32,000件	12,600件	14,400件

2 学位論文のデジタル化及び著作権処理

×著作権処理結果をふりかえって

- ①10数年前の著者でさえ、特定は非常に困難
- ②学位授与後10数年を経て、今さらインターネットで公開することに特段の意義を感じない著者も多い。
- ③商業出版されているもの、共著論文については、学位取得者が許諾するだけではインターネット公開ができない。

◎学位論文の流通促進のために

⇒可能な限り電子化して利用に供する

- ・NDLがインターネット公開する学位論文へのアクセス件数は、9,000件／月
- ・紙資料の閲覧件数は、5,900件／年

3 学位論文の流通促進に向けて

海外の事例

英国 EThOS (Electronic Theses Online Service)

全英の学位論文のポータルサイト

大学と英国図書館 British Libraryが連携して、学位論文の電子的な流通を実現

国立国会図書館と大学図書館との連絡会「学位論文電子化の諸問題に関するワーキンググループ」報告
(2008年(平成20年)3月27日)

<課題>

- ・ 学位規則における公表手段の限定 (印刷公表)
- ・ 学位論文の公表段階での電子化